

道州の拠点となる都市と州都のあり方

1 道州（広域自治政府）の核となる国際的な魅力を備えた拠点都市圏の形成

国際競争力のある自立した地域ブロックを形成するためには、世界的なリーディング産業の集積、起業を促進する環境整備、国際的な人材の育成、魅力ある都市環境の整備などを進める必要がある。

「21世紀の国土のグランドデザイン」（第五次全国総合開発計画）によると、地域ブロックの中で核となる拠点都市圏として、まず、三大都市圏（東京圏、関西圏、名古屋圏）があり、それに次ぐものとして、地方中枢都市圏が4つ（札幌、仙台、広島、福岡・北九州）位置づけられている。また、地方中枢都市圏に準ずる地方中核都市圏として位置づけられている新潟、金沢・富山、静岡・浜松、岡山・高松、松山、熊本、鹿児島、那覇などを合わせた12の都市圏を「地方中枢拠点都市圏」^{〔2頁参照〕}として、そのネットワークを重層的に形成し、わが国の広域国際交流圏の拠点として、国際交流機能を強化するとされている。

これらの地方中枢拠点都市圏が道州の牽引役として「成長の極」となり、拠点都市圏が発展すれば、その活動を支援する産業が拡大し、道州内にも効果が波及するなど、道州全体の牽引役を果たすことが期待される。

2 政令指定都市を中心とする都市圏（地方中枢都市圏）の役割

現在の政令指定都市を中心とする都市圏は、企業の本社が多数立地するのみでなく、道府県庁舎や国の地方支分部局が多数存在するなど、ブロック内の業務機能や行政管理機能などが集中している。

また、都市の集積度を示す人口規模や都市政策を遂行する上での財政規模も地域ブロックの中で最も上位に位置し、地域ブロックを牽引する力を持った拠点都市圏の中心となる都市である。地方中枢拠点都市圏は、国の地方支分部局だけでなく、東京本社に対する地域ブロック内の支社や支店が多数立地することから、支店経済型都市とも呼ばれている。その中で特に、札幌、仙台、広島、福岡・北九州の4都市圏は、地方中枢都市圏として支店経済構造と支店の立地に対応した高規格道路、高速鉄道、空港などの高速交通網の結節点となっていることから、支店の集積を高め、地域ブロック内での枢要な地位を占めてきた。

こうした都市システムは、交通網の整備と表裏一体の関係にあり、例えば、東京と地方を結ぶ航空路線の旅客数の上位5路線のうち、4路線が中枢拠点都市圏と東京を結ぶものである。（1位 東京～札幌、2位 東京～福岡、3位 東京～大阪、4位 東京～沖縄、5位 東京～広島）^{〔8頁参照〕}

地方中枢拠点都市圏には、生産財や消費財などの卸機能、デパート、専門店

街などの大規模な小売機能，大学・専門学校などの高等教育機能，専門病院などの高次医療機能，研究所，技術センターなどの研究開発機能，各種スポーツの競技場やホール，劇場，プロ集団などのスポーツ・芸術文化機能など，ブロック全体に広く影響を及ぼす高次都市機能が多数集積している。

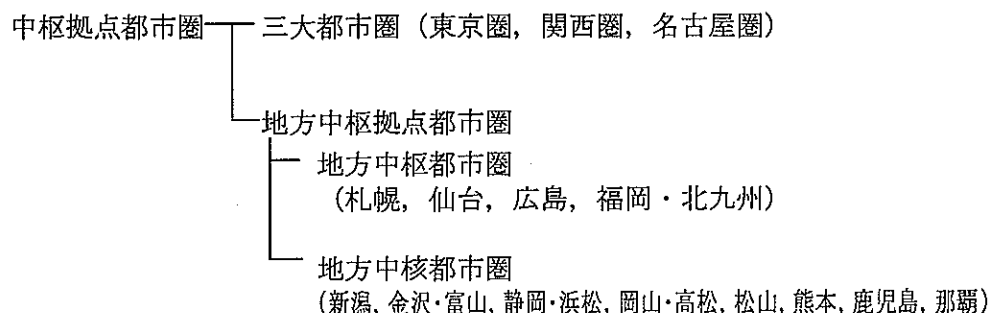
3 道州の拠点となる都市圏と州都としての課題

以上の点から，地方中枢拠点都市圏は，道州が国際競争力のある自立した地域ブロックを形成する上で，最も重要な牽引役としての役割を期待され，州都としてもふさわしいと考えられる。

州都にふさわしい都市あるいは都市圏として，①国の地方支分部局などの行政機能や企業の集積があること，②人，もの，情報の交流を促進するための空港，港湾などの国際的な交流基盤が整備されていること^{〔3・4頁参考〕}，③地域ブロック内外の各都市を結ぶ高速交通ネットワークが整備されていること，^{〔5頁参考〕}④高等教育機関や文化・スポーツ施設，大規模商業施設等の高次都市機能が集積していること，などの条件が掲げられるが，広島都市圏が道州の拠点として中心的役割を担っていくためには，東西方向の高速交通体系に対して，山陰方面への高速交通体系が脆弱であること，高速道路と広島市中心部を結ぶ高規格道路の整備が遅れていることなどの課題がある。また，高次都市機能の面でも，中国地方の中では最も高い集積を有しているが，札幌，仙台，福岡という他の地方中枢都市と比較すると，高次都市機能全体で相対的に低い集積を示し，特に文化サービス機能，学術研究機能，余暇関連サービス機能などの集積に課題が認められる。^{〔9頁～参考〕}

道州の州都として，地域ブロック内外の人々や企業から選ばれるためには，こうした課題を踏まえて，大学など学術研究機関，企業，行政などの産学連携を強化するとともに，高速交通ネットワークを中心としたハードや文化・余暇関連といったソフトの両面にわたるインフラを戦略的に整備することが重要であり，これまでの経済や都市機能の集積，歴史，文化などのストックを活かし，国際的にも魅力を持ち，世界に開かれた都市となるため，行政と民間が一体となって，その機能強化を進めていくべきである。

用語の整理（第五次全国総合開発計画より）



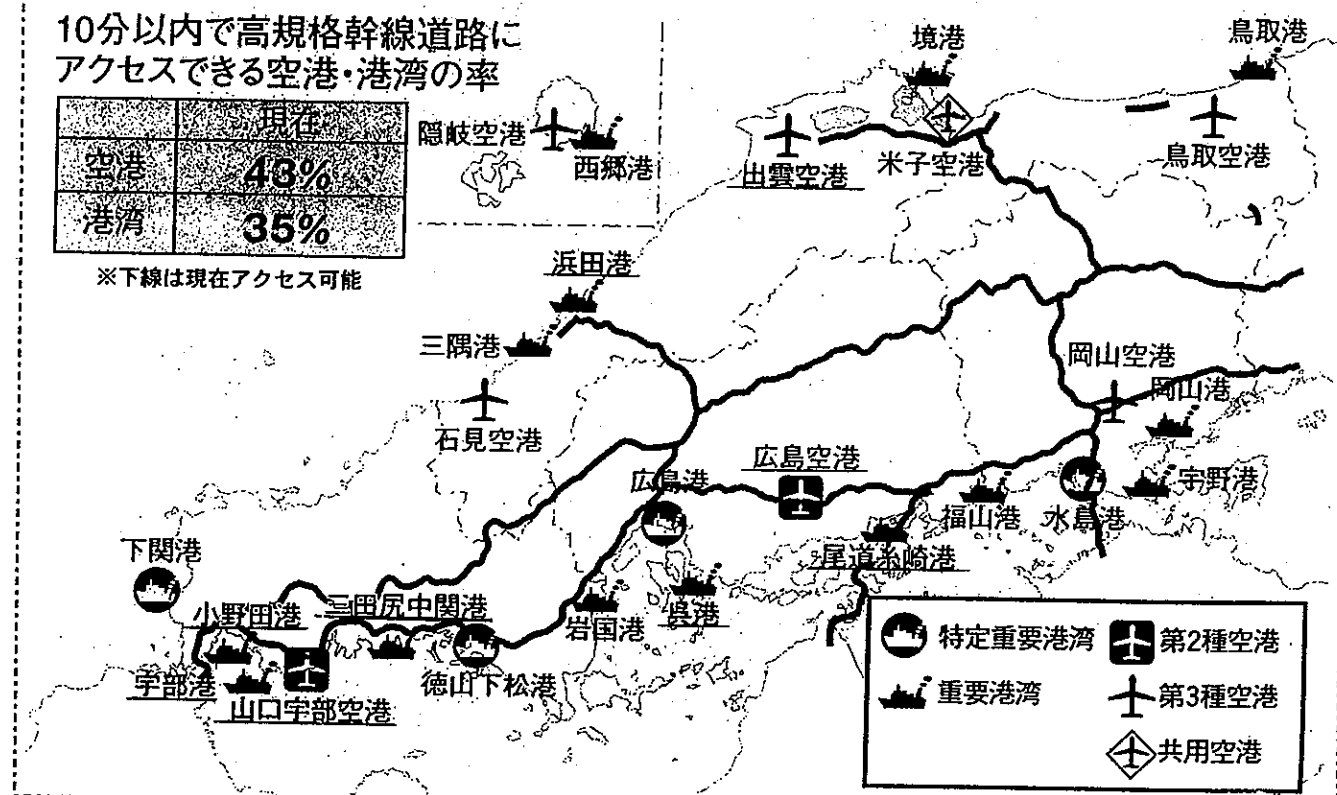
国際的な交流基盤

空港・港湾位置図

10分以内で高規格幹線道路に
アクセスできる空港・港湾の率

現在	
空港	43%
港湾	35%

※下線は現在アクセス可能



中国地方の空港の概要（2004. 10現在）

空港名	種別	滑走路	管理	路線
広島空港	2種	3,000×60	国	羽田, 成田, 札幌, 仙台, 沖縄 ソウル, 北京, 上海, 大連, 台北, (ハ ルビン, 運休中)
岡山空港	3種	3,000×45	県	羽田, 札幌, 仙台, 宮崎, 鹿児島, 沖縄, ソウル, 上海, グアム
出雲空港	3種	2,000×45	県	羽田, 名古屋, 大阪, 隠岐, 福岡
鳥取空港	3種	2,000×45	県	羽田, 名古屋
山口宇部空港	2種	2,500×45	県	羽田
石見空港	3種	2,000×45	県	羽田, 大阪
隠岐空港	3種	1,500×45	県	大阪, 出雲
美保(米子)空港	共用	2,000×45	国	羽田, 名古屋, 福岡, ソウル
広島西飛行場	その他	1,800×45	県	新潟, 宮崎, 鹿児島
岡南飛行場	その他	1,200×30	県	

国際定期航空路の旅客輸送実績（2003年度実績）

航 空 路	便 数 (2004・10 現在)	実数 (人)	座席利用率 (%)
米子⇄ソウル	週3便	28,652	62.3
岡山⇄ソウル	週3便	57,850	65.1
岡山⇄上海	週7便	25,837	54.2
岡山⇄グアム	週2便	17,237	54.5
広島⇄ソウル	週10便	87,210	53.3
広島⇄上海	週4便	26,247	41.3
広島⇄大連・北京	週3便	13,239	52.5
広島⇄大連(ハルビン)	週2便 (03.4 就航)	5,651	33.9
(広島⇄台北)	週3便 (04.6 就航)	—	—

海上コンテナ貨物の状況（2002 年度実績、単位：個）

県名	港湾名	区分	40フィート	20フィート	計
鳥取県	境 港	輸出	1,617	1,588	3,205
		輸入	2,234	2,880	5,114
岡山県	水 島 港	輸出	7,456	15,044	22,500
		輸入	5,450	7,097	12,547
広島県	広 島 港	輸出	23,111	4,142	27,253
		輸入	11,796	7,799	19,595
	福 山 港	輸出	1,643	1,974	3,615
		輸入	6,665	8,628	15,293
	呉 港	輸出	50	73	123
		輸入	32	64	96
山口県	岩 国 港	輸出	3,177	30,070	33,247
		輸入	645	1,464	2,154
	徳山下松港	輸出	4,559	24,371	28,930
		輸入	1,631	9,032	10,663
	三田尻中関港	輸出	604	150	754
		輸入	1,539	1,903	3,442
	宇 部 港	輸出	548	1,888	2,436
		輸入	132	1,528	1,660
	関 門 港	輸出	26,932	51,825	80,153
		輸入	43,142	87,572	133,557

※関門港には門司港、小倉港を含む。

交通ネットワークの状況（主要都市間の所要時間）

○ 航空機利用の所要時間

	飛行所要時間	市内アクセス時間	総所要時間
鳥取⇄東京	1時間10分	鳥取20分+東京40分	2時間10分
出雲⇄東京	1時間20分	松江35分+東京40分	2時間35分
出雲⇄大阪	50分	松江35分+大阪25分	1時間50分
岡山⇄東京	1時間10分	岡山30分+東京40分	2時間20分
広島⇄東京	1時間15分	広島50分+東京40分	2時間45分
宇部⇄東京	1時間30分	山口30分+東京40分	2時間40分

○ JR利用の所要時間

	鳥取	島根	岡山	広島	山口	東京	大阪
鳥取		1:27	1:59	2:40	3:29	4:47	2:06
島根	1:27		2:20	3:02	3:15	5:52	3:11
岡山	1:59	2:20		0:42	1:31	3:33	0:51
広島	2:40	3:02	0:42		0:48	4:15	1:34
山口	3:29	3:15	1:31	0:48		5:03	2:22

○ 高速道路利用の所要時間

	鳥取	島根	岡山	広島	山口	東京	大阪
鳥取		2:10	3:10	4:30	5:30	9:00	3:00
島根	2:10		2:40	3:20	5:10	10:00	4:00
岡山	3:10	2:40		2:30	3:50	8:10	2:10
広島	4:30	3:20	2:30		2:20	10:00	6:10
山口	5:30	5:10	3:50	2:20		11:40	7:50

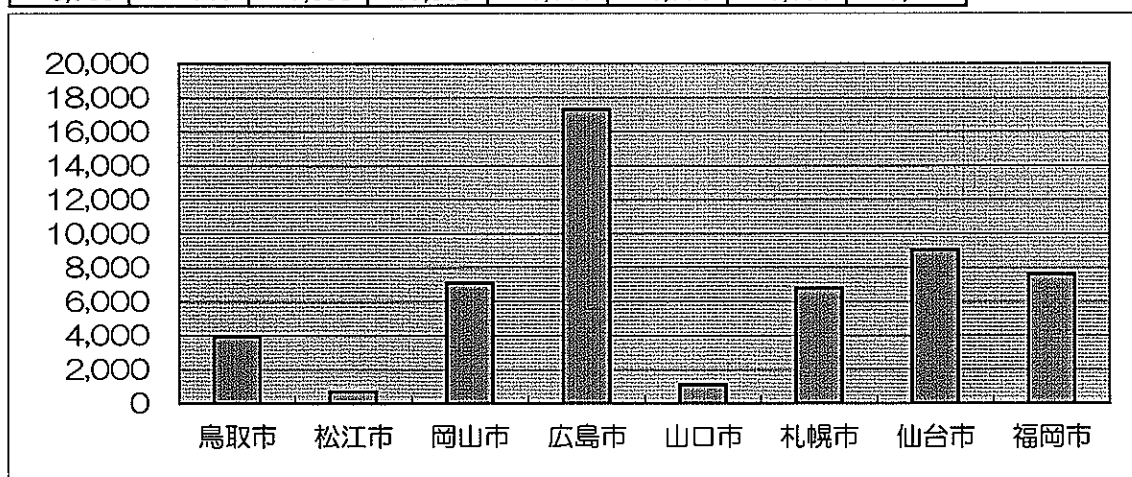
鳥取市からの時間距離

航空機利用	2時間10分	東京
JR利用	2時間6分	大阪
JR利用	2時間40分	広島
高速道利用	3時間	大阪
高速道利用	4時間30分	広島
高速道利用（広島松江整備後）	3時間40分	広島

中国地方各都市と他地域の中核都市の比較

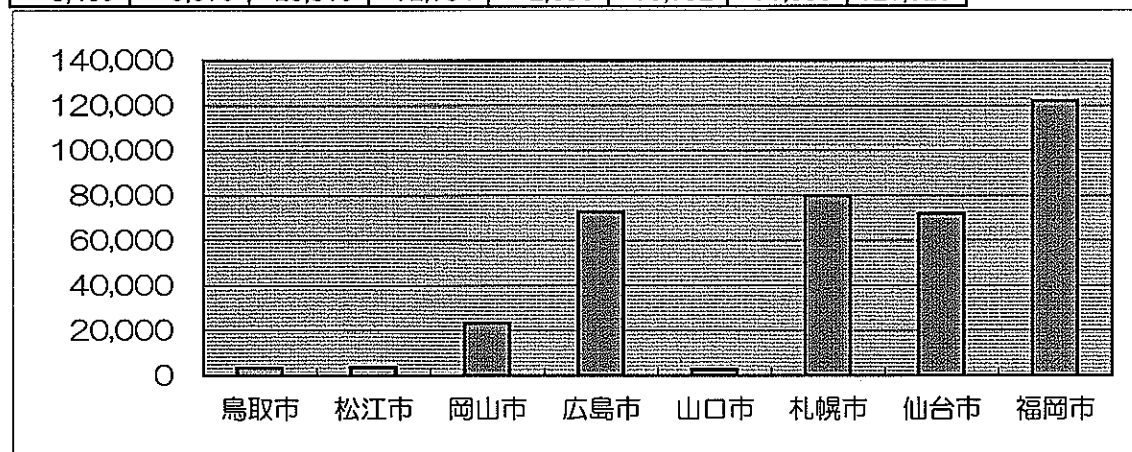
製造業年間出荷額等（２００１年，単位：億円）経済産業省「工業統計表」より

鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
3,966	717	7,099	17,300	1,106	6,773	9,038	7,614



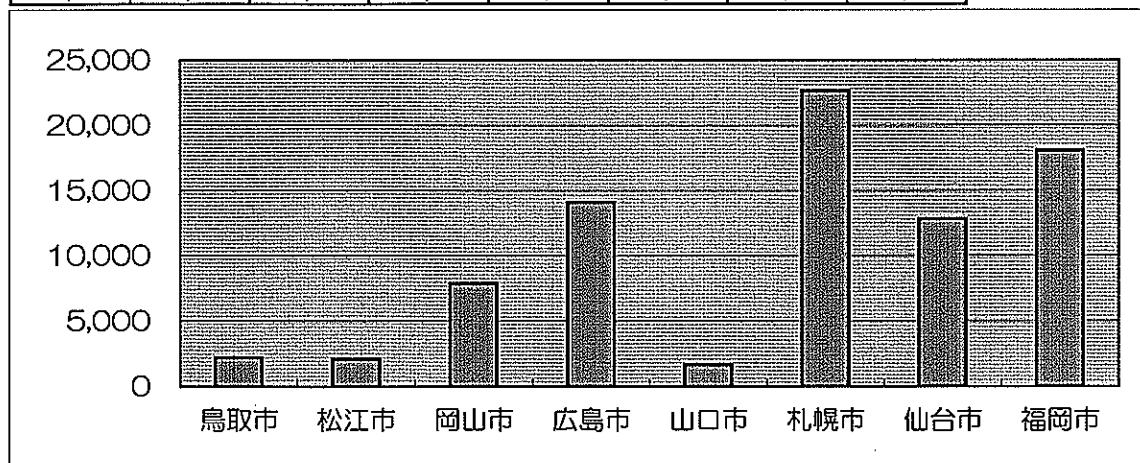
卸売年間販売額（２００２年，単位：億円）経済産業省「商業統計表」より

鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
3,459	3,870	23,319	72,754	2,690	79,792	71,885	121,928



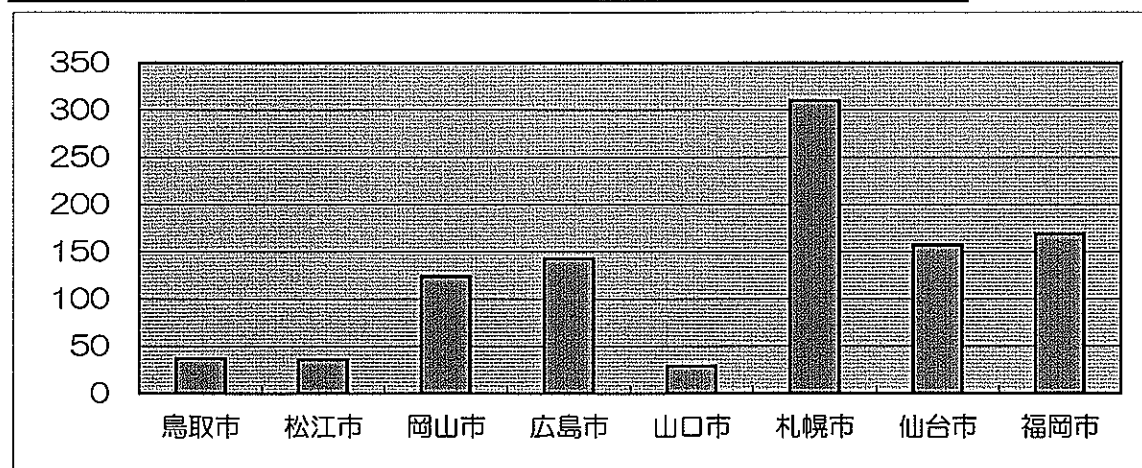
小売年間販売額（２００２年，単位：億円）経済産業省「商業統計表」より

鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
2,222	2,115	7,883	14,080	1,666	22,637	12,830	18,089



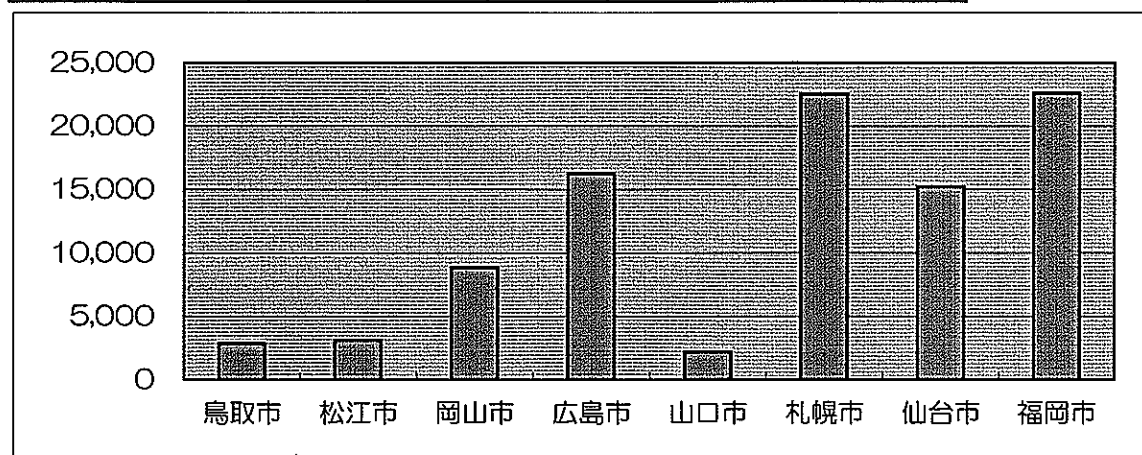
大型店舗数（千㎡超，2003年，単位：店）東洋経済「全国大型店舗総覧2004」より

鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
37	36	124	143	29	310	157	169



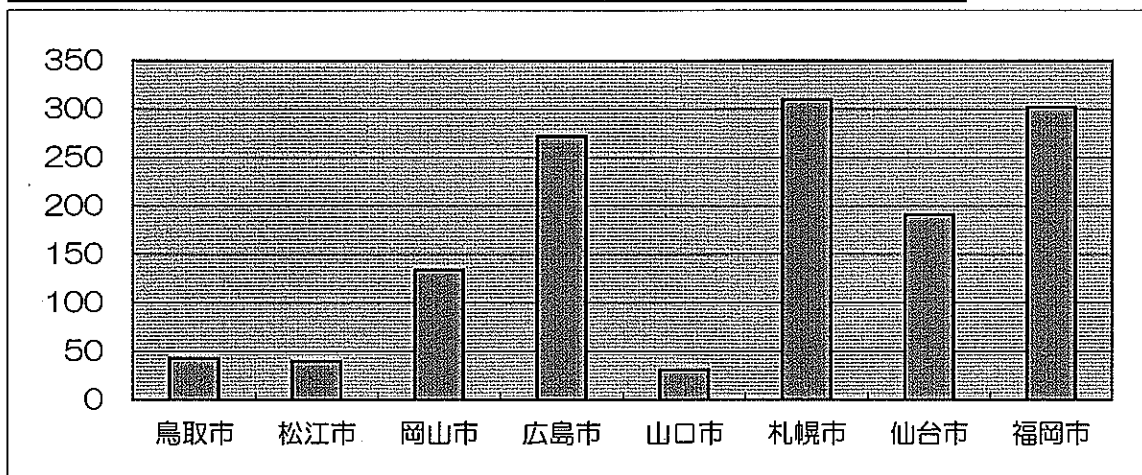
サービス業事業所数（2001年，単位：所）総務省「事業所・企業統計」より

鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
2,857	3,101	8,846	16,261	2,191	22,506	15,210	22,596



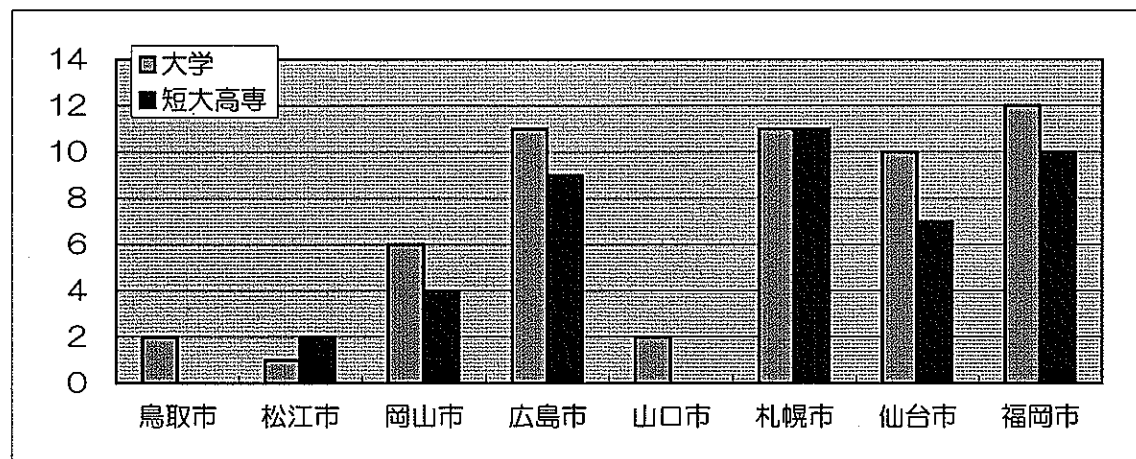
金融機関数（2004年，単位：店）日本金融通信社「日本金融名鑑」より

鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
43	40	134	272	31	310	191	302



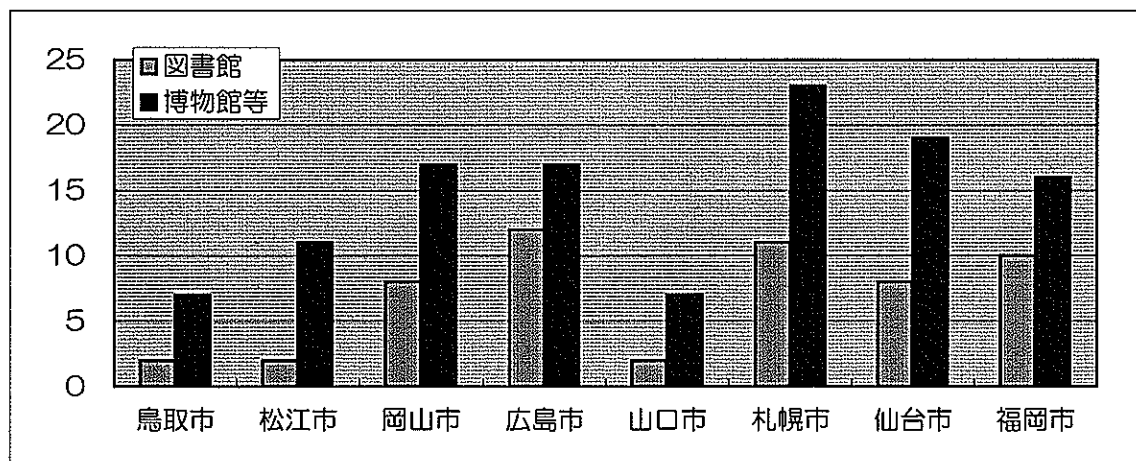
大学・短大高専数（2001年，単位：校）全国市長会「日本都市年鑑」より

	鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
大学	2	1	6	11	2	11	10	12
短大高専	0	2	4	9	0	11	7	10



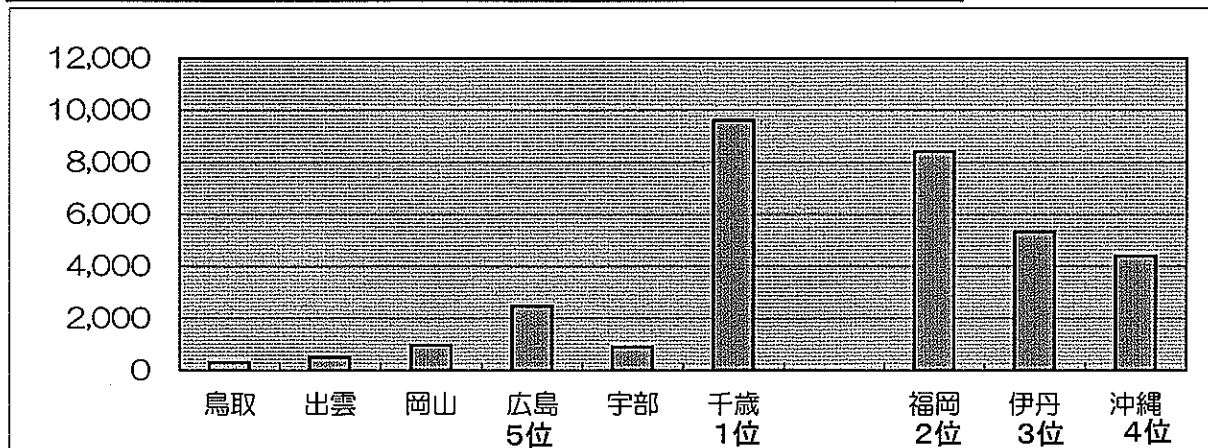
図書館数，博物館美術館数（2003年，単位：館）日本図書館協会「日本の図書館」，日本博物館協会「博物館総覧」より

	鳥取市	松江市	岡山市	広島市	山口市	札幌市	仙台市	福岡市
図書館	2	2	8	12	2	11	8	10
博物館等	7	11	17	17	7	23	19	16



航空路線（東京便）旅客数（2002年，単位：千人）国土交通省「航空輸送統計年報」より

鳥取	出雲	岡山	広島	宇部	千歳		福岡	伊丹	沖縄
308	513	979	2,479	900	9,611		8,419	5325	4396

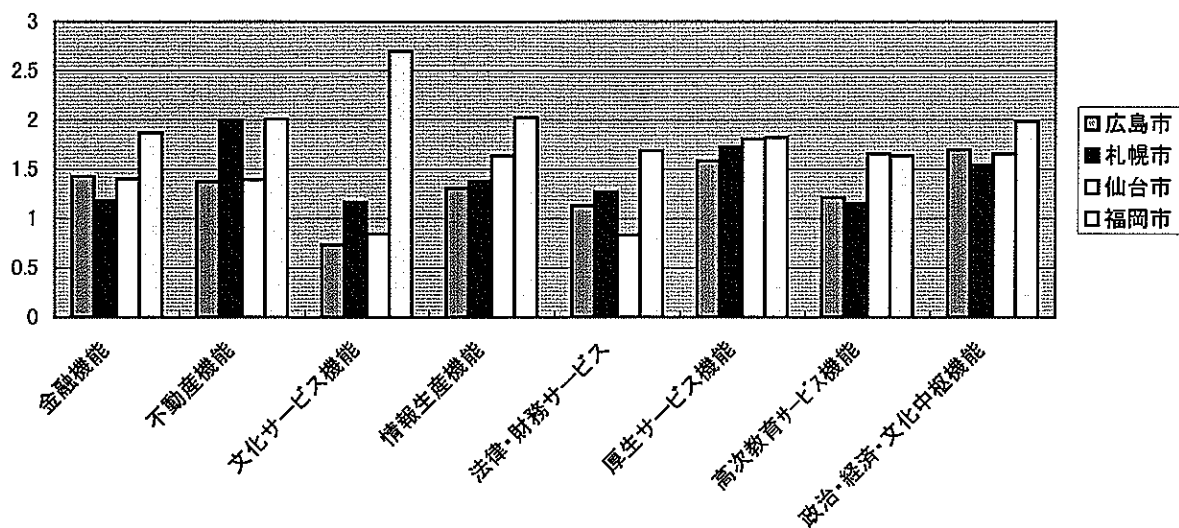
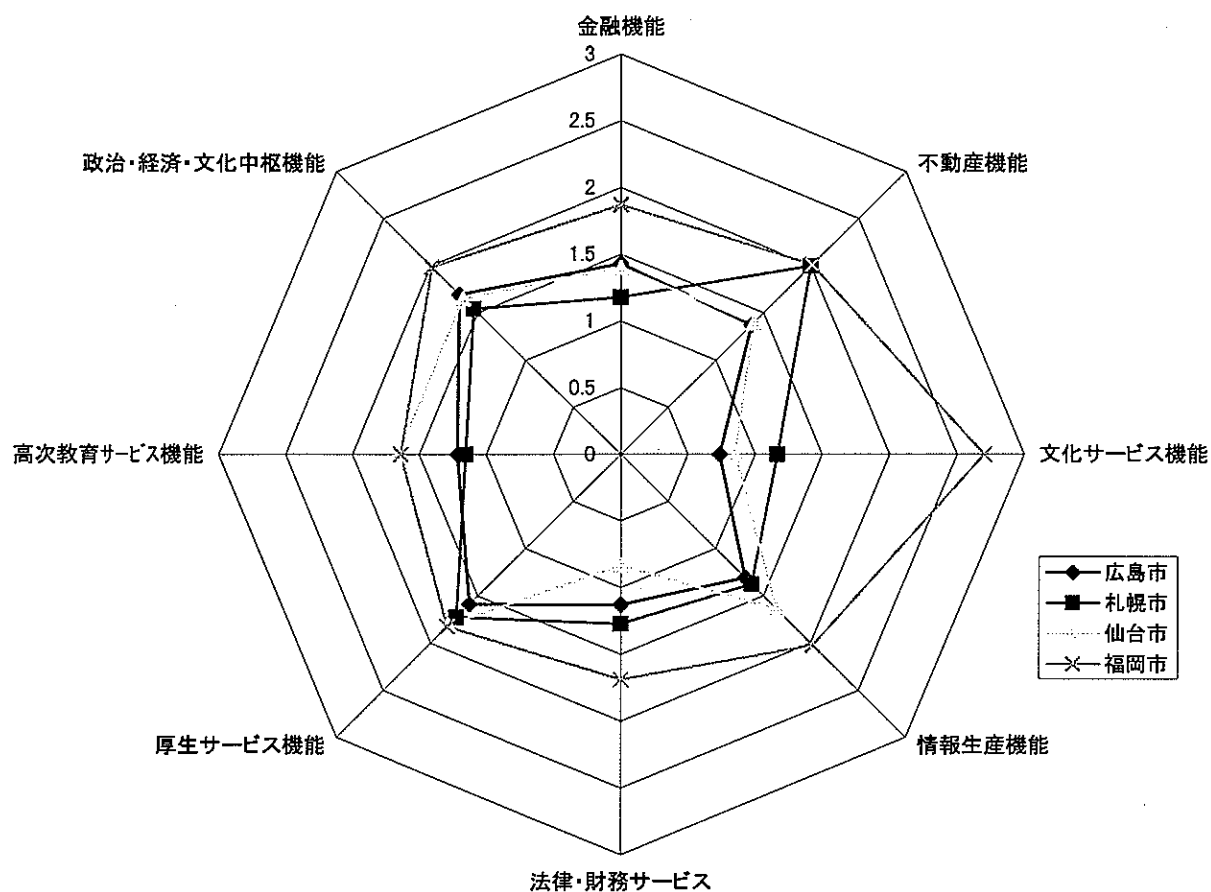


(財)中国産業活性化センター「中国地域における光と影」に関する調査報告書より

高次都市機能

	広島市	札幌市	仙台市	福岡市
金融機能	1.429	1.177	1.402	1.871
不動産機能	1.373	1.996	1.393	2.010
文化サービス機能	0.735	1.166	0.848	2.699
情報生産機能	1.309	1.376	1.636	2.023
法律・財務サービス	1.127	1.269	0.833	1.688
厚生サービス機能	1.586	1.724	1.810	1.823
高次教育サービス機能	1.214	1.152	1.656	1.636
政治・経済・文化中枢機能	1.697	1.544	1.657	1.986

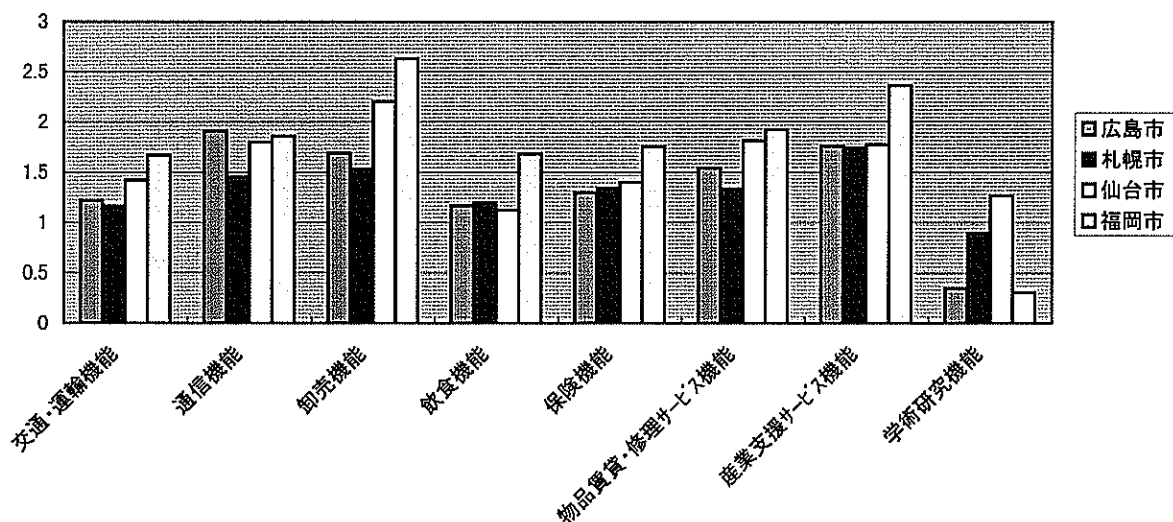
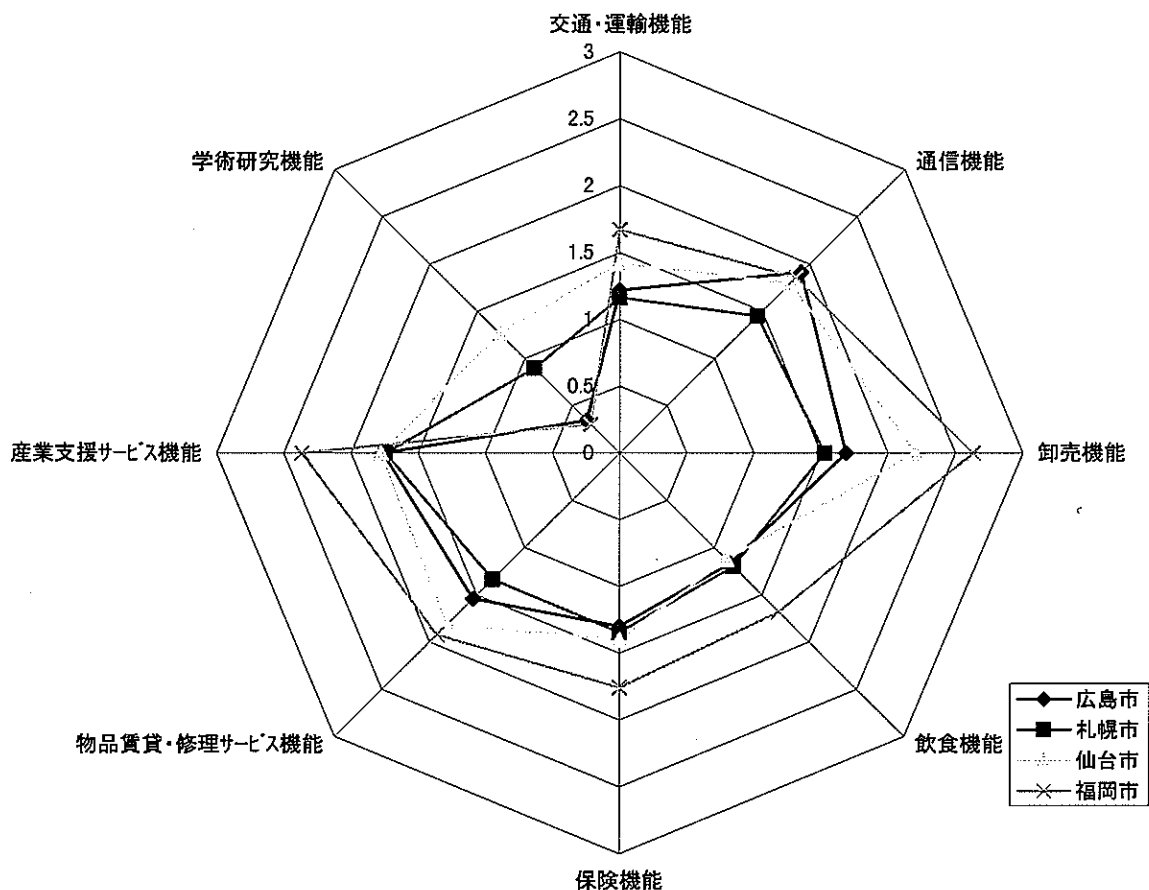
※数値は、都市機能の集積係数。
各機能別の従業者数のシェア等から集積度を指数化した数値。



準高次都市機能

	広島市	札幌市	仙台市	福岡市
交通・運輸機能	1.219	1.164	1.422	1.671
通信機能	1.912	1.452	1.797	1.858
卸売機能	1.688	1.529	2.204	2.630
飲食機能	1.168	1.200	1.124	1.682
保険機能	1.298	1.343	1.399	1.757
物品賃貸・修理サービス機能	1.543	1.336	1.816	1.924
産業支援サービス機能	1.763	1.744	1.779	2.364
学術研究機能	0.347	0.897	1.267	0.306

※数値は、都市機能の集積係数。
各機能別の従業者数のシェア等から集積度を指数化した数値。



基礎的都市機能

	広島市	札幌市	仙台市	福岡市
電気・ガス・熱供給・水道機能	1.679	1.008	1.620	1.997
小売機能	1.221	1.114	1.151	1.342
生活関連サービス機能	1.071	1.050	1.146	1.198
余暇関連サービス機能	0.843	1.166	1.045	1.072
自動車関連サービス機能	1.178	1.018	1.300	1.097
保健・医療・福祉サービス機能	1.094	1.215	1.041	1.256
基礎的教育サービス機能	1	0.906	1.062	0.914
地域サービス機能	1.349	0.712	1.024	1.051

※数値は、都市機能の集積係数。
各機能別の従業者数のシェア等から集積度を指数化した数値。

